

持続できる行政サービスの構築

(1)行政

現況と課題

人口が減少し、国の財政も厳しい中、持続できる行政サービスのあり方が問われています。効率的な行政運営を進めるとともに、組織の定員などの適正化にも取り組んでいます。その一方で、行政サービスの向上となる新たなサービスが注目されています。また、研修などを通じ、職員の行政サービス力向上も図れるよう取り組んでいます。

施策

No.	内 容	R3年度(まで)の具体的な取り組み内容	自己評価	意見等	担当課
1	役場事務のさらなる効率性を追求し、行政サービスの向上を目指します。	係制にしたことで、業務の実施しやすい体制が構築された。総合窓口を設置したことで住民に対しての利便性が向上した。	B	十分な効果を得られるため、引き続き取り組んでいくべきと感じるため。	総務課
2	行政組織や定員などの適正化に努めます。	今後も定員管理策定計画に基づき、適正な人員確保に努めていく。	B	十分な効果を得られるため、引き続き取り組んでいくべきと感じるため。	総務課
3	民間委託、指定管理者制度など、制度の優位性が発揮できるよう管理体制を構築します。	予算編成時に施設ごとの管理状況を確認し、管理体制を検討する。	B	十分な効果を得られるため、引き続き取り組んでいくべきと感じるため。 施設をつくり民間委託も良いが後の採算性も考慮すべきと思う。 (道の駅の加工場等)	総務課
4	各種証明書のコンビニ交付、電子申請、またコンビニ収納について研究します。	検討の結果、実施しない	B	証明書は行政が発行すべきで、休日等も実施し、振替休日でたいおうすべき(夜遅くまでも交代すべきと思う)	住民福祉課
5	職員研修などを通じて、職員の行政サービス力を向上していきます。	職員の行政サービス向上を目指すため、さまざまな研修に参加することができた。	A	十分な効果を得られるため、引き続き取り組んでいくべきと感じるため。 職員の自己満足にならないよう住民にもその効果を明示してほしい	総務課

(2) 広報・広聴

現況と課題

これからの行政サービスを考えていくためにも、住民の意見や考えを聞くことが重要となります。また、行政がどのような取り組みをしているのか、何故そのような取り組みが必要なのかといったことを住民に分かりやすく伝えていくことも不可欠となります。ケーブルテレビの番組なども活用し、分かりやすい行政情報の発信に取り組んでいきます。

施策					
No.	内 容	R3年度(まで)の具体的な取り組み内容	評価 (R3まで)	意見等	担当課
1	行政懇談会や村づくりミーティングを通じて行政情報を発信します。	村が実施する重要プロジェクトをテーマとしてむらづくりミーティングを開催し村民に向けた情報発信を実施した。 行政懇談については、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から実施時期変更したこともあったが、毎年実施する中で重点事業情報の発信や村民との意見交換を実施した。	B	十分な効果を得られるため、引き続き取り組んでいくべきと感じるため。 今後も継続して実施してほしいが年間計画も立てて早めの開催日に対応してほしい。	総務課
2	ホームページやSNS などインターネットを活用した広報・広聴活動も充実させます。	Twitterでイベント情報や災害情報などの発信を行った。 R4年度に向けて、村民の向けの情報発信としてLINEの導入を決定した。	B	十分な効果を得られるため、引き続き取り組んでいくべきと感じる。 継続実施してください。	総務課
3	「広報きそ」の内容を充実させるとともに、ホームページなどと連動した取り組みも進めます。	村長コラム、食育コラム、頭のストレッチとしてナインパズルを掲載するなど読み手が楽しめるような内容を追加した。	B	十分な効果を得られるため、引き続き取り組んでいくべきと感じる。 村民に興味がわく内容を検討して、村民が期待して待つような内容も検討してほしい	総務課
4	ケーブルテレビ自主放送による行政情報などの発信に努め、住民が視聴して「楽しい・感動する・ためになる」番組づくりを検討していきます。	保育園・小中学校の行事、戴原神社例大祭、環境授業など郡内でも多い方で19個の番組を放映した。	B	十分な効果を得られるため、引き続き取り組んでいくべきと感じる。	総務課
5	ケーブルテレビを活用した高齢者の見守りや村情報の提供などケーブルテレビの新たな活用方法を研究します。	見守りの必要な方へは民生児童員の活動や社会福祉協議会の配食サービスや見守り活動を行っているほか24時間の見守りが必要な方へは緊急通報サービスを実施しており、CATVを活用した高度な活用の必要性を感じていない。	B	十分な効果を得られるため、引き続き取り組んでいくべきと感じる。	住民福祉課

(3) 税制

現況と課題

全国で少子・高齢化や過疎化が進み、地方経済が低迷しています。木祖村においても同じことがいえる中、税の収入構造の検討が必要です。木祖村の収納率は高いものの、100％ではありません。税の公平性を保つためにも、適正な税負担を求めていく必要があります。

施策

No.	内 容	R3年度(まで)の具体的な取り組み内容	評価 (R3まで)	意見等	担当課
1	地籍調査実施後の結果の速やかな反映や、その他家屋特定調査などを実施し、より適正な課税に努めます。	地籍調査後の反映は法務局からの登記済通知をもって速やかに対応してきた。家屋調査も進めてきたが、よりよい方法について更に検討していきたい。	B	十分な効果を得られるため、引き続き取り組んでいくべきと感じる。	住民福祉課
2	木祖村にふさわしい財源のあり方について、調査、研究を進めます。	固定資産税などについては標準税率を超えた課税についても村民から一定の理解を得ることができている。時流に合った財源のあり方について更に調査・研究を進めたい。	B	十分な効果を得られるため、引き続き取り組んでいくべきと感じるため。 企業誘致や優良企業や住民の増加を図り税収を多く入れることを考えて欲しい。課題と思われるが。	住民福祉課
3	滞納整理計画を立て、関係各課との連携を密にし、収納率の向上及び滞納整理に努めます。	徴収対策会議を開催し、関係各課との連携を取るなかで徴収事務を行うことができた。収納率も高水準をキープすることができている。	B	十分な効果を得られるため、引き続き取り組んでいくべきと感じる。	住民福祉課

(4)財政

現況と課題

税収の伸び悩みや国財政の立て直しが進む中、限られた予算を適正に配分していくことが求められています。幅広く、薄く配分するのではなく、効果を生み出せるよう選択と重点化を図り、効率的な予算運用を行うことを期待されています。
行政サービスにおける受益者負担についても、再考を求められています。公費の負担をどのようにすべきかを議論しながら、適正な受益者負担による行政サービスを目指していきます。

施策

No.	内 容	R3年度(まで)の具体的な取り組み内容	評価 (R3まで)	意見等	担当課
1	新公会計制度のもと適切な会計処理を行います。	委託による期末一括仕訳により、財務4表を作成済み	A	十分な効果を得られるため、引き続き取り組んでいくべきと感じる。	総務課
2	厳しい行財政環境のもと、構造改革を踏まえた国の予算編成の動向や地方財政対策などを見極めながら、全力を挙げて所用財源の積極的な確保を図ります。	予算編成会議で全庁へ周知するとともに、査定時に個別に財源等を担当課(者)へ確認	C	十分な効果を得られるため、引き続き取り組んでいくべきと感じる。	総務課
3	行政の果たす役割と領域をさらに検討し、経費の削減や効率化を一層進めていきます。	予算編成会議で節約に向けて全庁へ周知するとともに、令和3年当初予算編成時においては物件費及び補助費等について、一律カットを行った。	B	十分な効果を得られるため、引き続き取り組んでいくべきと感じるため。それぞれの部署で必要な予算だけに一律カットは良くないと思う	総務課
4	財政調整機能として村債を活用し、負担の公平化と住民サービスに努めます。なお、村債の発行には十分留意し、将来にわたる財政の健全化にも努めます。	予算編成において、事業の緊急性・重要性を確認し、地方債の発行抑制を行った。	B	十分な効果を得られるため、引き続き取り組んでいくべきと感じる。 引き続き健全化に努めてほしい。	総務課
5	投資的事業の実施に当たっては、「選択と重点化」により、優先順位の明確化による財源の効率的運用に努めます。	予算編成会議で全庁へ周知するとともに、査定時に事業の緊急性・重要性等を確認した。	B	十分な効果を得られるため、引き続き取り組んでいくべきと感じる。	総務課
6	行政サービスに係る公費負担と受益者負担の再検討を行い、受益者負担の適正化を図ります。	予算編成会議で全庁へ周知するとともに、査定時に個別に確認した。	C	十分な効果を得られるため、引き続き取り組んでいくべきと感じる。	総務課
7	効率性・必要性・成果を重視しながら検証し、最少の経費で最大の効果が発揮できるよう検討していきます。	予算編成会議で全庁へ周知するとともに、査定時に事業の緊急性・重要性等を確認した。	B	十分な効果を得られるため、引き続き取り組んでいくべきと感じる。	総務課
8	行財政運営状況の説明責任を果たすため、財政事情の公表、資産情報整備を行いながら、ストック情報など発生主義を取り入れたバランスシート、行政コスト決算書などの作成・公表のほか、財政健全化の取り組みについても実績把握と公表を行います。	資料の作成の他、広報きそへ掲載した。	B	十分な効果を得られるため、引き続き取り組んでいくべきと感じる。 財政健全化を推進してください。	

(5) 景観形成

現況と課題

「源流の里木祖村景観計画実践プラン」が策定されました。木曽川の「源流の里」として誇れる景観形成を進めることが期待されています。木祖村ならではの「源流の里」らしい景観は、自然と共生した暮らしを形成することにつながります。今後は、景観形成のモデルとなる事業を展開していくとともに、住民と議論し協働した景観形成を進め「源流の里」として誇れる景観づくりに取り組んでいきます。

施策					
No.	内 容	R3年度(まで)の具体的な取り組み内容	評価 (R3まで)	意見等	担当課
1	木曽川の「源流の里」として誇れる景観形成を進め、水と緑を保全し、自然と共生した木祖村らしい環境保全に努めます。	観光地の下草刈り作業、支障木や危険木の伐採事業の実施。 東海地区木祖村人会と連携した鳥居峠へのカエデの植樹。 あやめ公園池保安全管理組合が中心となりため池周辺の景観整備と住民一体となったカエデの植樹、自然観察会の実施。	B	十分な効果を得られるため、引き続き取り組んでいくべきと感じる。 味噌川ダムへの道路の草や枝等通行に支障をきたす。 ダム周辺のハーフマラソンでダム湖が見えない(部分的にでも伐採すべき)	産業振興課
2	木曽路や木曽川・観光地など、木祖村らしい眺望を取り戻すための施策として、景観に配慮した支障木等の伐採を進めます。	観光地の下草刈り作業、支障木や危険木の伐採事業の実施	B	十分な効果を得られるため、引き続き取り組んでいくべきと感じる。 味噌川ダムへの道路の草や枝等通行に支障をきたす。 ダム周辺のハーフマラソンでダム湖が見えない(部分的にでも伐採すべき)	産業振興課
3	景観形成のモデルとなる事業を展開するとともにSNS等で情報を発信し、景観形成に対する住民意識の高揚を図っていきます。	インスタグラム等による眺望景観や観光地の四季折々の情報発信	B	十分な効果を得られるため、引き続き取り組んでいくべきと感じる。 桜の木をはじめ景観を必要とされる木は手入れも大事	産業振興課
4	「源流の里木祖村景観計画実践プラン」に沿って、景観形成を推進していきます。	観光地の下草刈り作業、支障木や危険木の伐採事業の実施	B	十分な効果を得られるため、引き続き取り組んでいくべきと感じる。 桜の木をはじめ景観を必要とされる木は手入れも大事	産業振興課
5	村民と協働した景観形成を図るため、住民応援協定の締結を推進していきます。	菅地区住民協定の支援	B	十分な効果を得られるため、引き続き取り組んでいくべきと感じる。 ボランティアも有効活用し必要な経費は歳出してほしい。	産業振興課

(6) 自然保護・環境保全

現況と課題

「木祖村自然エネルギー活用計画」、「源流の里 木祖村景観計画」が策定されました。それぞれの計画に沿い、自然エネルギーの利活用と自然環境保護に取り組んでいくことが期待されています。
さらに、木曽川の「源流の里」として、水をきれいに保つとともに、源流の自然環境を維持、向上させていくことも重要となります。

施策

No.	内 容	R3年度(まで)の具体的な取り組み内容	評価 (R3まで)	意見等	担当課
1	木曽川の水、源流を汚さないため、不法投棄の防止や下水処理の推進を図ります。	木祖浄化センターの電気設備等の改築工事を行った。	A	十分な効果を得られるため、引き続き取り組んでいくべきと感じる。	住民福祉課建設水道課
2	水資源を保全するために、水源地域で不明な土地取引が行われないよう、条例の啓発などを進めていきます。	未実施	C	広報誌等で啓発を行うべきである。	住民福祉課
3	生ごみの堆肥化を推進し、ゴミの減量化を図るとともに、プラスチック製品などの分別収集によるリサイクルを充実します。	木祖村非常事態宣言、木祖村地球温暖化対策実行計画に則り、環境学習授業の実施やエコポイント事業の実施、また、村職員によるゼロカーボン推進研究会の立ち上げなどを実施。 ゼロカーボン推進研究会を主体としたごみ減量化を今後も進めていく。	B	ゴミ袋への記名について引き続き積極的に啓発を行ってください。	住民福祉課
4	村民参加による環境整備に取り組むとともに、外来植物駆除及び河川浄化のための活動を推進します。	定期的な特定外来植物駆除の実施やごみゼロ運動時の河川整備を実施。 今後も継続した事業実施をする。	B	十分な効果を得られるため、引き続き取り組んでいくべきと感じる。	住民福祉課
5	郷土環境保全地域(鳥居峠)の自然環境保護と観光客安全対策の強化を図るため、計画的景観整備を進めます。	観光地の支障木や危険木の伐採事業の実施。誘導サインや構造物のチェック。	B	十分な効果を得られるため、引き続き取り組んでいくべきと感じる。	産業振興課
6	「木祖村自然エネルギー活用計画」に沿い、自然エネルギーの活用方法を研究します。	令和3年度「ゼロカーボン推進研究会」の立ち上げにより、水力発電事業の検討、研究を開始した。水力発電事業の実施を目標として今後も研究をしていく。	B	水資源が豊かな地域であり、具体的な取り組みを早急に行うべきである。	住民福祉課
7	「源流の里 木祖村景観計画」に沿った、自然環境保護を進めます。	観光地の支障木や危険木の伐採事業の実施。誘導サインや構造物のチェック。	B	景観の視点からの廃家対策を検討するべきである。	産業振興課
8	自然環境と地域に調和した再生可能エネルギー活用事業のあり方について検討します。	「木祖村自然環境等と再生可能エネルギー発電事業との調和に関する条例」に則り、景観整備と再生可能エネルギーの調和について検討していく。	B	専門的な方の意見が必要	住民福祉課

(7) 住宅

現況と課題

人口減少を抑えるためには、若い世代が村内で暮らせる環境を整備することやI・J・Uターンの受け皿をつくる必要があります。前述のとおり住宅の適地が限られる中、若い世代が継続して村に住み続けられるよう計画的な整備を図ることが重要となります。

施策

No.	内 容	R3年度(まで)の具体的な取り組み内容	評価 (R3まで)	意見等	担当課
1	若者の村外への流出を防ぐため、村営住宅整備等の定住化対策を推進します。	老朽化した住宅の除却、土地の分譲等に向けて準備を進めた。今後は、これからの需要に合わせた住宅の整備に向けて検討が必要となる。	B	村営住宅も良いが空き家の整備に伴い改修し住めるようにしたらどうか。 トイレ・浴室・キッチン水回りの整備を	総務課
2	村営住宅の計画的な維持管理を推進します。	入退去の折に修繕を実施してきた。今後、内外装の改修やボイラーの更新など計画的に取り組む必要がある。	B	十分な効果を得られるため、引き続き取り組んでいくべきと感じる。	総務課

(8) 文化財

現況と課題

本村の宝である地域文化は、保存し、伝承していく必要があります。地域の素晴らしさを広めるためにも、『お六櫛の技法』などを保存、継承していくとともに、村民一人ひとりがその素晴らしさを理解できるよう取り組んでいきます。

施策

No.	内 容	R3年度(まで)の具体的な取り組み内容	評価 (R3まで)	意見等	担当課
1	地域文化の宝である『お六櫛の技法』などの文化財の保護・保存・伝承を進めます。	お六櫛の作成体験学習を開催し技術の継承に努めているが、更なる活動についても検討が必要。	B	子ども達への教育の中にも木祖村の文化を勉強する機会を	産業振興課 教育委員会
2	日本遺産指定による地域活性化の推進のため文化財の活用を進められるよう、観光行政との連携をする中で、さらに地域文化の掘り起こし、その保存や伝承について研究します。	文化財パトロールの実施	C	効果は十分ではない部分があるが、施策の内容や方向性は良いと思うため引き続き取組を実施してほしい。	産業振興課
3	郷土館の屋根、壁などの補修工事の実施に併せ、駐車場や案内看板を充実させ、利用されやすい環境づくりを進めます。	令和4年度に雨漏りについては修繕を行うよう計画を作成したが、郷土館利用の方向性を含め検討を継続する必要がある。	C	効果は十分ではない部分があるが、施策の内容や方向性は良いと思うため引き続き取組を実施してほしい。	教育委員会
4	村ホームページの「史跡・文化コーナー」を充実させ、村民をはじめとした多くの人に木祖村の文化財を発信します。	令和4年度に雨漏りについては修繕を行うよう計画を作成したが、郷土館利用の方向性を含め検討を継続する必要がある。	B	十分な効果を得られるため、引き続き取り組んでいくべきと感じる。	教育委員会
5	木祖村の自然や歴史・文化などの資料について、保管、収集のあり方を検討し、未来への貴重な財産の保存を進めます。	ホームページの整備は完了している	B	十分な効果を得られるため、引き続き取り組んでいくべきと感じる。	教育委員会

(9) 男女共同参画

現況と課題

働き方や社会の変化により、家庭を取り巻く環境も変わってきました。また、人口減少社会の中で、女性の社会での活躍も期待されています。
今後も、あらゆる住民が住みやすい社会としていくため、男女共同参画にも取り組んでいきます。

施策

No.	内 容	R3年度(まで)の具体的な取り組み内容	評価 (R3まで)	意見等	担当課
1	男女共同参画のための啓発活動を積極的に進めます。	男女共同参画セミナーを毎年開催した。	B	認識の広がりを感じられない	住民福祉課
2	男女共同参画社会の実現のため、自治組織や地域自治協議会との連携を深め、すべての人が参加しやすい、家庭環境、地域づくりに努めます。	実施なし	D	男女共同参画社会の内容の啓発、村はだいぶ遅れていると思う。	住民福祉課

(10) 医療

現況と課題

平均寿命が延び、超高齢社会となり、医療費の適正化は不可欠となっています。また、その負担も公平に行われるよう取り組んでいく必要があります。住民アンケートでは、医療について「普通」と回答の方が約4割、「満足している」「まあ満足している」と回答の方が約2割と前回のアンケート時と同等の結果となっています。低所得者に対する軽減措置のほか、国民健康保険税の据え置きによる結果であると推測できます。しかしながら、医療の発達や被保険者の高齢化により医療費は年々増加傾向にあります。医療費の増加は医療費拠出の財源である公費や保険料の増加を伴い、被保険者の負担の増加につながります。
そのため、病気になる前の疾病予防に関する取り組みが重要となります。生活習慣病の予防を目的とした特定健康診査など検診受診率の向上を図り、病気を未然に防ぐ対策を検討します。

施策

No.	内 容	R3年度(まで)の具体的な取り組み内容	評価 (R3まで)	意見等	担当課
1	国民健康保険制度改革の円滑な移行により、長期的な財政運営の安定化を図るとともに、税率の適正化を図ります。	県より示された標準保険税率、郡内各町村の保険税率、基金保有残高等から総合的に判断し、税率の改定は行いませんでしたが、今後も動向を注視し、必要に応じて税率改正等を検討していきます。	C	引き続き取り組んでいくべきと感じる。	住民福祉課

(11) 上下水道

現況と課題

9つの簡易水道施設により配水を行っています。下水道などの施設は整備され、その維持・管理と今後の設備更新が控えています。「源流の里」として豊かな水と自然環境を守るためにも、下水道などの加入率を向上させていく必要があります。また、効率的な運営体制の整備と計画的な設備更新を進めていくことも重要となります。

施策

No.	内 容	R3年度(まで)の具体的な取り組み内容	評価 (R3まで)	意見等	担当課
1	各種計画を策定し、計画的な施設の整備、更新に努めます。	上下水道共に経営戦略の計画に基づき進めている。水道は藪原浄水場の建設、下水道は木祖浄化センターの電気設備更新等計画的な更新をしている。	A	水道施設の老朽化に伴う9施設の現状、その費用や建設費 下水道の加入率は。 引き続き取り組んでいくべきと感じる。	建設水道課
2	施設更新にあたっては、管理費用や更新費用の削減に努めます。	設計内容等精査し進めているがコロナ禍や世界情勢が関係し資材が高騰し削減の達成は出来ていない。	C		建設水道課
3	経営基盤を確立し、効率的な業務運営と適正な料金体系の維持を図ります。	今のところは料金の値上げは考えていないが、建設工事も始まり今後の有収率等の動向も考慮し適正な料金たいけいについて検討をする。	B		建設水道課